

平成 26 年度「英語能力判定テスト」における 大淀中学校の結果の概要と今後の取組について

大阪市では、生徒の英語力の充実と向上を図るため、教育振興基本計画*に基づき、英語イノベーション事業*の一環として、「英語能力判定テスト」を実施いたしました。このテストの目的は、生徒が自らの英語力を的確に把握とともに、学校における英語の指導の改善を図ることにあります。

学習指導要領における中学校英語の目標は、4技能（「読む」「聞く」「話す」「書く」）を総合的に活用できるコミュニケーション能力の育成と示されています。本テストで測定できるのは英語力の一部ですが、本校では、結果をふまえ、生徒の総合的な英語力向上を目指してまいります。

- 1 目 的 (1) グローバル社会において活躍し貢献できる人材の育成をめざし、生徒の英語力の充実・向上を図るため、本市教育振興基本計画に基づき、生徒に求められる英語力や学習の習熟過程等を把握・検証する。
(2) 生徒が自らの英語力を的確に把握とともに、生徒の英語力の実態を分析することにより、各学校における学習指導の改善、工夫に役立てる。

2 対 象 大阪市立中学校 全生徒

3 実 施 日
・3年生 平成26年10月27日（月）
・2年生 平成27年 2月 2日（月）
・1年生 平成27年 2月 4日（水）

4 内 容

学年	テストの種類	テストの難易度	テスト内容		満点スコア
			筆記問題	リスニング問題	
3年	テストD	英検3～5級レベル	50題	30題	460点
2年	テストE	英検4～5級レベル	40題	25題	400点
1年	テストF	英検5級レベル	25題	25題	340点

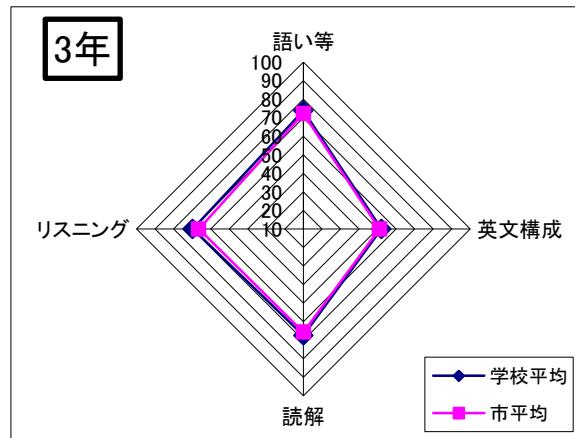
*教育振興基本計画…本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画

*英語イノベーション事業…本市の英語教育強化を図るための事業

「英語能力判定テスト」結果の概要と今後の取組 大淀中学校

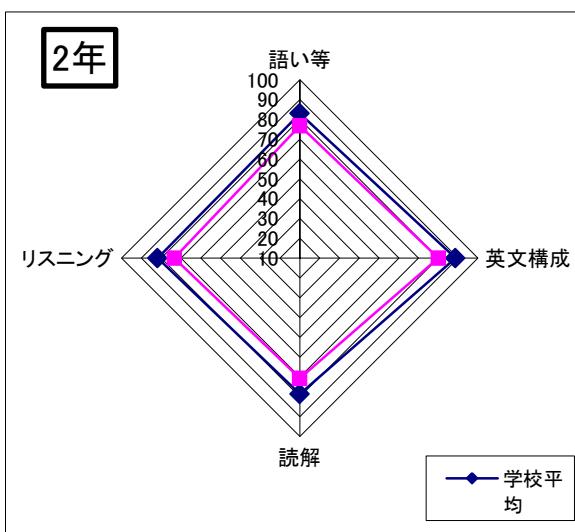
3年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	73.8	52.1	67.4	69.7
市平均	72.2	51	65.6	66.4

(%)



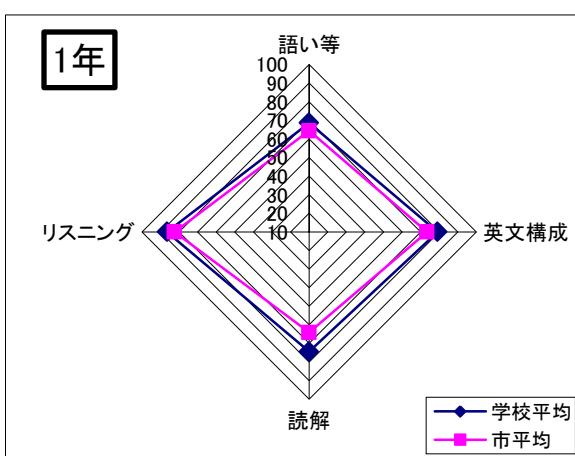
2年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	83	88.6	78.6	81.8
市平均	76.8	80	70.7	73.3

(%)



1年	語い等	英文構成	読解	リスニング
学校平均	68.6	79.1	74.4	86.5
市平均	64.4	73.4	64.1	82.4

(%)



結果の概要と結果をふまえた今後の取組

※各学年において実施したテストはそれぞれ種類が異なるため、学年間の正答率を比較することはできません。

3年 英検3～5級レベル:スコア 0～460点

《結果の概要》

すべての分野において市平均を上回っているが、「英文構成」においては他の分野に比べると正答率が低い。

《結果をふまえた今後の取組》

複数教師によるきめ細かい指導の効果が表れている。しかし、「英文構成」の正答率が他の分野にくらべると低いので、基本的な語順・文法事項の復習に今以上に取り組んでいく必要がある。

2年 英検4～5級レベル:スコア 0～400点

《結果の概要》

すべての分野において市平均を上回っている。特に「読解」の分野においては約10ポイント上回っている。

《結果をふまえた今後の取組》

引き続き、基礎的・基本的な知識・技能の習得に取り組む。授業の中で英語を用いることにより、語彙力の向上にもつなげていきたい。

また読解力の向上には、長文にふれる機会を増やす必要があり、習熟度別学習などで取り組んでいく必要がある。

1年 英検5級レベル:スコア 0～340点

《結果の概要》

すべての分野において市平均を上回っている。

特に「読解」の分野においては10ポイント近く上回っている。

《結果をふまえた今後の取組》

今後も基礎・基本的な復習を継続させるとともに、「会話力」や「表現力」向上につながるよう、語彙力や英文構成といった分野の指導に重点的に取り組んでいく必要がある。